

知財ist研修2017シラバス

【知財ist研修2017】	
課程	法律課程
科目	知的財産権と民事訴訟法 3日間
副題	～知的財産権と民事訴訟法（民事執行法、民事保全法、ADR含む）～
日程	2017年6月1日（木）、8日（木）、15日（木）いずれも10:00～17:00
講師	慶應義塾大学 法学部 法律学科 准教授 工藤 敏隆 氏
科目別受講料	会員50,000円、一般62,000円（消費税8%含む、テキスト代含む）
おまとめ受講料	全課程おまとめ受講料（45日間）会員500,000円、一般600,000円 法律課程おまとめ受講料（16日間）会員200,000円、一般260,000円
説明	本科目では、企業等の知的財産・法務担当者にとって、紛争解決の基本となる民事訴訟法および民事執行法、民事保全法について、様々な種類の民事事件に共通する基本原理を踏まえた上で、知的財産紛争に関連が深い制度や論点を中心に講義を行います。近時注目を浴びている、仲裁やあっせんなどの裁判外紛争解決手続（ADR）についても扱います。
レポート、演習の有無等	講義最終日にレポート課題を提示します。希望者は講師による採点を受けることができます。（おまとめ受講者で、知財ist研修の修了証書が必要な方はご提出が必須です。）レポートの返却は、ご提出されてから約3カ月後となります。
事前質問について（研修日より1週間前まで）	研修当日に、講師にお聞きになりたい事項等ございましたら、5/25までにメール（chizaist@jiii.or.jp宛）にて承ります。（ご質問の内容によっては、講義時に講師より直接説明を求められる場合もございます。）

知財ist研修2017シラバス

<p>研修項目（昨年度目次例等）</p>	<p>【第1回】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 紛争解決手続の全体像 2 民事訴訟法の概要・基本原則 3 裁判所／管轄 4 訴え／訴訟物 5 当事者／訴訟上の代理人 6 訴訟要件 7 口頭弁論 8 争点整理手続 <p>【第2回】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 審理の進め方 2 弁論主義 3 証明 4 自由心証主義 5 証明責任 6 主張立証責任の構造 7 証明責任の転換／推定 8 証拠調べ手続 9 既判力 	<p>【第3回】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既判力（続） 2 判決によらない訴訟の終了 3 複雑訴訟 4 上訴／再審 5 審決取消訴訟 6 民事執行・保全 7 裁判外紛争解決手続（ADR）
<p>参考書籍等</p>		
<p>過去受講された方々からの感想等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初心者にもわかりやすいようにして下さいました。 「知財と民訴」の名の通り、関連付けてお話いただきありがとうございました。 ・なかなか面白く聞けました。とても詳細に教えて頂きました。 ・条文と照合しての講義なので、つながりが分かりやすかったです。 ・適宜に質問しながら、講義され、緊張感を持続して受講できた。 	
<p>研修をご欠席される場合は。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・代理の方のご出席も可能です。事務局までご連絡願います。 ・ご欠席された場合は、研修にて使用したテキスト等配布資料を、後日、送付（ないし直接お渡し）いたします。 ・希望者は、講義（講師の声のみ）を録音したCDを借りることができます。事前にご連絡いただき、直接事務局まで借りに来ていただいております。（返却は郵送でもかまいません。）（貸出期間約3週間、詳しくは事務局にお問い合わせください。） 	
<p>弁理士会継続研修</p>	<p>本科目は、日本弁理士会の継続研修として申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると外部機関研修として、3日間で16.5単位が認められる予定です。</p>	

2017.3.13